

秋の味覚をトングでつかんで収穫する、変わり種クレーンゲーム!?

## 秋の味覚キャッチャー 第1弾!!

# 「甘栗キャッチャー」登場!



↑「甘栗キャッチャー」のポスター



↑アームの開閉に連動して開いたり閉じたりするトングで、栗拾いの様に景品を掴んでGETする



↑景品の「甘栗」の写真 (GETしたら、すぐに食べられる)

株式会社東洋(本社:埼玉県北本市/代表取締役 中村秀夫)が経営する、1店舗当たりのクレーンゲーム設置台数が240台でギネス世界記録に認定されている「世界一のゲームセンター エブリデイ行田店(埼玉県行田市)」は、2017年9月21日(木)から、**秋の味覚キャッチャー第1弾**として、甘栗が景品で獲れる【**甘栗キャッチャー**】を本格稼働させました。

甘栗キャッチャーは、9月14日から登場し、**“まるで栗拾いをしている様”**に、アームの開閉に連動して、トングが開いたり、掴んだりするのが最大の特徴の変わり種クレーンゲームです。アームの先端に改造をしてトングを付け、トングで景品の甘栗を獲って頂く為、登場から1週間、問題なく動作するか、景品は獲れるのかなどの様子を見ましたが、問題なく景品が獲れる為、この度、本格稼働開始致しました。

“秋の味覚”がコンセプトの秋の味覚キャッチャーですが、**第1弾として、“栗”を選んだのには理由**があり、埼玉では、県内ほぼ全域で栽培されており、県内の果樹栽培面積では“栗”が最大で、その面積は699ヘクタールにおよび、生産量は755トンで全国5位(※埼玉県公式ホームページより)という、**全国で有数の栗の産地**としても知られていますが、まだまだ埼玉県の魅力を知らない方も多いのが現状で、**埼玉県をより知って頂けたらという思い**で、“栗”を、秋の味覚キャッチャーの第1弾のテーマに選びました。

甘栗キャッチャーを立案した担当者によると、『“栗拾い”をモチーフにしているの**で、本当は、イガグリを景品で使いたかった**。しかし衛生上や、生の栗の鮮度管理などの問題があった為、**代わりに、獲ったらすぐに美味しく食べて頂ける甘栗を景品に採用**しました。』との事。

世界一のゲームセンター エブリデイ行田店では、**秋の味覚キャッチャー第2弾**で、**秋刀魚**や**松茸**など他にも秋の味覚はたくさんありますが、鮮度管理や、景品価格の問題などの問題から、どうしたら景品として提供出来るか、現在真剣に考えております。

【ご連絡・お問い合わせはこちら】

会社名:株式会社東洋  
広報担当者:緑川裕一(みどりかわ ゆういち)  
担当携帯:080-6858-9626  
担当メール:midorikawa@everyday.co.jp

住所(本社):埼玉県北本市中丸9-211  
最寄駅:JR高崎線 北本駅  
電話番号:048-593-0999  
FAX番号:048-593-0997  
HP: <http://ufo-everyday.com/>